

タイヤ整備機器 TOPに聞く

②東洋精器工業



馬杉ゆかり社長(写真左) / 阿瀬亜希代表取締役

2023年度の事業環境を振り返って。

上昇に加えて、為替の円安進行がとまらず、利益をぎりぎりまで抑えても20

—SUVが成長し、軽自動車もハイト系車両が増え、タイヤは大口徑化しています。23年度のチェンジャーやバルブの売上構成で変化はみられたのでしょうか。

—人材不足が大きな問題となっています。軽劣化・省力化、作業の効率化を図る機器など、取り組みについて。

馬杉「確かに、軽自動車でも15インチ扁平タイヤを装着していることから、総じてタイヤは大口徑化している傾向にあるとみています。とくに、5〜6年ほど前からコロナ前にかけて、26インチ以上の超大口徑タイヤに対応する機械への市場要求がみられました。ただ、最近はそのためのサイズ要求はあまり強くないのではないのでしょうか。もと

馬杉「軽劣化への市場要求は年々高まりをみせていることから、高級機種を中心にターボエンジン・レス専用機だけでなく、中級機、汎用機に至るまでレバレッジユニット仕様を展開しています。ご予算や軽劣化・省力化の要求レベルに応じて機械を選択していただければと思います。省電力の要求レベルに

22年下期に、広島営業所において、小規模ですがトレーニングセンター機能を付加改築しました。全国の営業所すべてにトレーニングセンターを併設したいと考えており、その取り組みを進めています。全国で均一に研修活動ができることを目標としています」

阿瀬「お客様のなかには、従来からの機械を使い慣れている方が多いために、新製品の機能になじめない、せっかく新しい機械を導入されても慣れ親しんだほうをお使いになるというケースがあるようです。操作用や、作業速度も慣れている従来機のほうが速いと。軽劣化・省力化をポイントに企画開発した新製品を、トレーニングセンターを通じて「理解を深めていただきたい」

一方、所得の上昇に伴い、ありとあらゆる物の値段が上がっています。社員所得水準の上昇は、販売が好調で業績が上がれば会社利益が増えますが、現在の為替状況が好転してくれることを願っています。

強み打ち出し存在感を高めたい

馬杉「21年はコロナ禍もありましたが、当社は会社創立75周年という節目の年でありました。そこで記念イベントとして購入タリットの強い企画を打ち出した結果、前年だけなく、コロナ前をも上回る実績となりました。22年実績はその反動もあり、コロナ前の水準まで戻った格好でした。23年はその分まで盛り返したいと思っていたのですが、実績としては厳しい状況で推移しました。

23年初めに複数回数、値上げを避けることができませんでした。それにより製品構成のなかで、とくに高価格帯の製品の販売が苦戦した状況にあり、その傾向が23年末まで続いています

もとのところから、当社では汎用機でも22、24インチリムに対応するタイヤチェンジャーにシフトしており汎用機であっても、GTRに装着のランフラットタイヤを安全に着脱できることを製品の開発段階で社内基準としています。そのため本体のチャッキングレンジ対応だけでなく、左右のサポートユニットを含めた1ターナル頭、それらの超扁平タイヤの剛性に対応可能な機械剛性を備えた製品レベルを満たしており、ます。そのようなことから、新たな強度や剛性を高めるための設計改良などは今のところ必要としていません

一度「業」を経験され、またと、どなたも好んで力作業はしないようになってきています。現場では高単価が指摘されています。ですのでこの先もこのような傾向は続いていくものと思われ、ます。

24年の展望と経営TOPとしての抱負を。馬杉「社内的には、当社の営業部はセールスエンジニアであり、営業スタッフはメンテナンスも担っています。日々、さまざまなメンテナンス事故が発生しており、そのメンテナンス作業での軽劣化・省力化・効率化が非常に重要となってきています。営業の現場から上がってくる意見や要望に沿って、商品企画部ではメーカーとの連絡を密にして、製品の品質のみならずメンテナ

ンス性の向上にも力を入れて取り組んでいます。一人ひとりが知識と技能を身に付け、お客様により良い提案ができるよう、スキルアップを図って参りたい。また、お客様には当社のトレーニングセンターをご利用いただき、製品の良さを体感いただく機会を増やしていただけるよう訴求を強めたいと考えています」

阿瀬「お客様のなかには、従来からの機械を使い慣れている方が多いために、新製品の機能になじめない、せっかく新しい機械を導入されても慣れ親しんだほうをお使いになるというケースがあるようです。操作用や、作業速度も慣れている従来機のほうが速いと。軽劣化・省力化をポイントに企画開発した新製品を、トレーニングセンターを通じて「理解を深めていただきたい」

事前の需要予測に基づいた事業計画では前年並みの数字を見込んでおりましたが、起爆剤に期待していた新製品の上市計画が、さまざまな事情で遅れてしまったことも計画を下支えすることができなかった要因のひとつとしてあげられます。また、原材料高騰により、製品そのものの仕入れ価格

阿瀬「コロナの感染分類の変更がありました。当社には大きな影響はありませんが、海外の取引き先が担当が来日することができるようになり、対面で打ち合わせを行う機会が増えました。ただ、ウェビナーを活用したオンライン会議などは引き続き行っており、リアルとオンライン、それぞれの良さを活かして使い分けしています」

機は長期間お使いいただくもので、現在の要求レベルだけでなく、お客様が年齢を重ね体力的な低下を感じられる10年先で

阿瀬「24年の干支は辰年ですが、当社の創業者、阿瀬亨(あせ)と、おの生まれた年の干支にあたり、また、そのなかで、当社

阿瀬「24年の干支は辰年ですが、当社の創業者、阿瀬亨(あせ)と、おの生まれた年の干支にあたり、また、そのなかで、当社

阿瀬「24年の干支は辰年ですが、当社の創業者、阿瀬亨(あせ)と、おの生まれた年の干支にあたり、また、そのなかで、当社

阿瀬「24年の干支は辰年ですが、当社の創業者、阿瀬亨(あせ)と、おの生まれた年の干支にあたり、また、そのなかで、当社